

2018年12月1日発行  
淡海ネットワークセンター

<http://www.ohmi-net.com/>

## 2018年度未来ファンドおうみ 「助成先団体セミナー&相談会&交流会」 を開催しました【開催日：10月13日（土）】

この「セミナー&相談会&交流会」は、助成先団体の事業実施や組織運営についての悩みを共有し、解決方法を検討するとともに、団体間の交流を深めることを目的として開催しました。講師は、社会性志向ビジネス（ソーシャルビジネス）の経営支援が専門のOffice SPES 代表 秋葉芳江さんです。

当日の前半は、各団体から事業の現状と悩みや相談したいことを発表いただき、講師から団体ごとに具体的なアドバイスがありました。



後半は、「“いいことやってる人”がたくさんいる時代に」と題したセミナーでした。「ステークホルダーマッピング」では、団体の利害関係者（応援者）を把握し「事業ポジション」や「財務状況」、「活動領域」のチェックをしました。正解があるわけではなく、その事業はどこのポジションなのか、収支状況はどうか、またどんな人を巻き込みたいのかを団体の中で把握した上で、活動をしていくことが大切だということでした。



交流会では、今年度助成団体というご縁を活かして、団体さん同士の情報交換とマッチングがおこなわれることを目的としました。活動内容は違って、切り口やビジョンが似通った2グループに分け、互いに情報交換をおこない、グループごとに発表をしました。それぞれの次の活動に活かしていける内容となりました。最後にみなさんが気になる質問の回答として、秋葉先生から「もうかる事業」についてのお話と、「活動を楽しむ」ことの大切さを語っていただきました。



**2019年度助成事業の募集が始まりました。**  
応募受付期間 2018年11月20日～2019年1月15日（17時 必着）  
説明会も開催しますので、詳細はQRコードからご覧ください。



## 2018年 助成団体の活動

### びわこ市民活動応援基金

#### 国友村塾

採択事業は、「国友塾が国友町民ならず湖北地域の住民に地域の再発見と先人の心意気を学ぶことにより、ふるさと大好き市民の育成を図る事業」です。

本事業では、江戸時代の科学者・国友一貫斎のドラマ化の実現に向けて、行政とともに取り組み、国友塾講演会（年6回開催）や国友地域学Ⅱ（毎月1日発行）を出版します。

このほか、子ども歴史教室も開催し、地域ぐるみで先人の生き様を学び、地域貢献を願う人材づくりとして、子どもたちの夏休みには、国友鉄砲の資料館との共催で、7月19日～9月3日まで「岩崎賀都彰宇宙展」（一貫斎を思う天文学者）を開催しました。

また、本年11月には長浜キャノンアリーナで「体験しよう！国友一貫斎が見た太陽黒点」を開催し、子ども会や地域外の人呼び込む予定です。



### びわこ市民活動応援基金

#### 神照西部まちづくり委員会

採択事業は、『蚕の里まつり』を中心とした「わが町」「わが郷土」まちづくり推進事業です。当地域は、既存集落と新興住宅が混在していることもあり、住民同士のコミュニケーションが希薄化しつつあることから、「養蚕の館」を拠点として世代間の交流を深めるなど、地域のコミュニティの醸成に係る事業を企画しています。

5月には親子で田植え体験などの農業体験をしました。7月には「花火と夕涼みコンサート」を開催し、従来の花火見物ではなく夕涼みコンサートや模擬店を催したことで、570人もの参加者で賑わい、地域の交流を促進できました。また、11月には老人会と幼稚園児を対象に、人形劇の開催をするなど、幅広い年代の市民が親しめる事業を展開することで、世代を超えた交流を深めていきたいと考えています。



## 2018年 助成団体の活動

笑顔あふれるコープしが基金

### ふるさと玉川「民具を照らす会」

採択事業は、「消えゆく民具の保存と継承事業」です。民具とは先人達が積み重ねてきた文化的遺産です。その貴重な財産が時の経過とともに価値が薄れ、使い方もわからず処分されようとしているのは大変憂うべきことです。



まず、草津市の玉川小学校にある民具を整理、収集しデータベース化しました。その一環として地元の約30名に聞き取り調査を行い、その結果を川柳にまとめ、「民俗かるた」を作成しました。高齢者に対してその「民俗かるた」を通じて、過去の記憶を思い出してもらい「回想法」を用いて認知症予防の支援を行うことにしました。

実施方法としては、高齢者には民具・民俗かるたを手に取り、実物の民具や描かれた絵を見て昔、親兄弟と暮らした思い出を語ってもらいます。また、小学校の授業に参加し、子供達に民具の機能や使い方を教え、次世代への継承（温故知新）に繋げていく活動を目的として実施しています。



びわ湖の日基金

### 葉山川環境美化推進委員会

採択事業は、「葉山川環境美化推進委員会」です。川沿いに雑草が生い茂ると、ゴミが捨てやすくなり環境の悪化にも繋がっています。この活動は、地区内に小学校、中学校、高校があるが、葉山川の周辺の背丈の高い雑草などで見通しが悪くなるため、登下校する学生などの安全対策の一環として始められました。美化活動を通じて、地域の人々の顔を繋ぐために、活動の後の親睦会では



かき氷などを出して子ども達の参加も促しています。また、葉山川に生息する生き物や野花などの自然環境の保護と地域住民が憩いの道として自然にふれあってもらえる環境づくりの活動などの趣旨を、周辺企業に伝えて、支援などの協力を得ながら活動をしています。継続的な活動計画をたて、地域住民に愛される葉山川の環境にしていきます。



## 2018年 助成団体の活動

湖国文学活動応援むらさき基金

### 幻住庵保勝会

採択事業は、「幻住庵の来庵者と市民を対象に、芭蕉と近江についての啓発冊子刊行」です。

幻住庵には、毎年県内外から3,500人を超える来庵者があります。その人達に、幻住庵とともに、松尾芭蕉と近江とのかかわりについて、簡単に理解してもらいにくいことが課題となっています。



そこでブックレットを発行することで、来庵者の理解を図るとともに、広く幻住庵と芭蕉について関心をもってもらいたいと考えています。今年度は三学出版から500冊刊行し、近くほぼ頒布できる状況です。今後このブックレットを持って、市民文化講座などにおいて積極的にPR活動を行っていきます。



ナカザワ NEO フレンドシップ基金

### 湖南省国際協会

採択事業は、「かたことにほんごの外国人とともにつくるまちこなん」です。

湖南省に暮らす外国人の子どもや親が、学校生活や地域とのつきあい方で困らないよう、日本の家庭で使う食材や調味料を選んで、一緒に料理や弁当作りを行ったり、日本の学校行事の服装や、

伝統行事やお祭りなど日本の文化を学んだりしています。他には、生活に使える日本語を学び、生活に密着した言い回しを覚えたりします。多文化共生の地域づくりを目指し、外国の方にも活躍してもらえるよう、各コミュニティのキーパーソンを



発掘、意識付けをし、外国人コミュニティの掘り起こしにも力をいれています。ボランティアなど、関わる人達とも共有しながら、丁寧に活動を進めています。



### お問い合わせ先

淡海ネットワークセンター（公益財団法人 淡海文化振興財団）  
〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20（ピアザ淡海2F）  
TEL：077-524-8440、FAX：077-524-8442  
E-mail:office@ohmi-net.com

